

積算基準〔1一般土木〕第I編 総則（平成27年10月30日以降適用） 訂正箇所表

頁

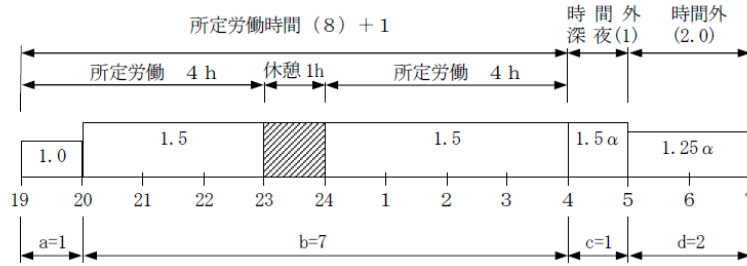
現 行

訂正後（平成27年10月30日以降適用）

資1-12

(2) 割増し例

例1. 夜間工事で19～7時の場合



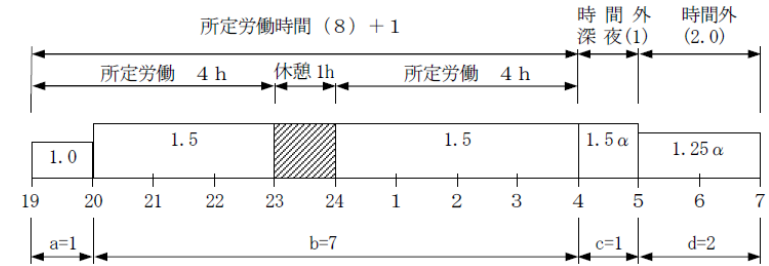
$$a' = \frac{1 + 1.5 \times 7}{1 + 7 + 1 + 2} = 1.0454 \approx 1.045$$

$$b' = \frac{1.5 \times 1 + 1.25 \times 2}{1 + 7 + 1 + 2} = 0.3636 \approx 0.364$$

$$T = P \times (a' + \alpha \times b')$$

(2) 割増し例

例1. 夜間工事で19～7時の場合

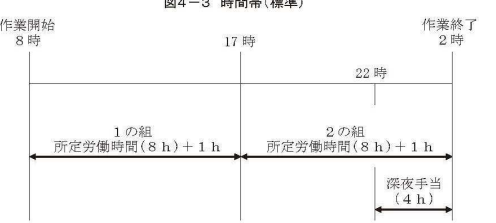
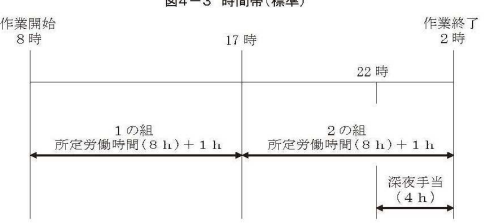
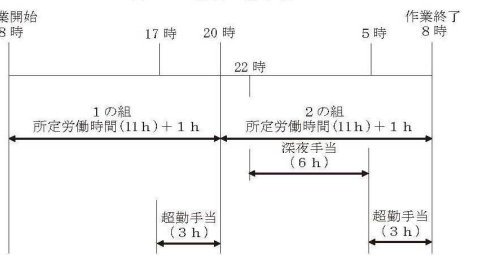
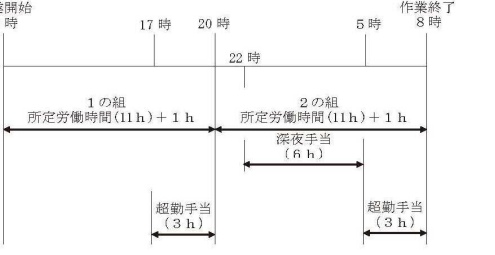


$$a' = \frac{1 + 1.5 \times 7}{1 + 7 + 1 + 2} = 1.0454 \approx 1.045$$

$$b' = \frac{1.5 \times 1 + 1.25 \times 2}{1 + 7 + 1 + 2} = 0.3636 \approx 0.364$$

$$T = P \times (a' + \alpha \times b')$$

積算基準 [1 一般土木] 第三編 河川 (平成27年10月30日以降適用) 訂正箇所表

頁	現行	訂正後 (平成27年10月30日以降適用)
Ⅲ-1-④-3	<p>4-2 浚渫船運転労務費</p> <p>(1) 浚渫船1日当り運転時間と乗務員の勤務時間 (標準)</p> <p>浚渫船の1日当り運転時間は、13 時間運転を標準とする。 また、乗務員の勤務は、1組9時間の2交替、18 時間勤務を標準とし、現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。 なお、1組当り実労働時間は8時間とし、1の組の作業時間帯は8時～17時、2の組の作業時間帯は17時～2時とする。</p> <p align="center">図4-3 時間帯(標準)</p>  <p>2) 2交替(2組)18時間勤務に伴う乗務員1人当り労務単価は、次により算出する。 深夜勤務手当割増率 = $4h \times 0.25 / 8h = 1/8$ 1組当り平均割増率 = $1/8 \times 1/2 = 0.063$ (少数4位四捨五入) 乗務員1人当り労務単価 = 基準額 $\times (1 + 構成比 \times 0.06)$</p> <p>3) 上図は、1日2交替作業の場合を示す。</p> <p>(2) 浚渫船の1日当り運転時間と乗務員の勤務時間を別途考慮する場合 (標準外)</p> <p>浚渫船の1日当り運転時間は、17 時間を標準とする。 また、乗務員の勤務は、1組12時間の2交替、24 時間勤務を標準とし、現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。</p>	<p>4-2 浚渫船運転労務費</p> <p>(1) 浚渫船1日当り運転時間と乗務員の勤務時間 (標準)</p> <p>浚渫船の1日当り運転時間は、13 時間運転を標準とする。 また、乗務員の勤務は、1組9時間の2交替、18 時間勤務を標準とし、現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。 なお、1組当り実労働時間は8時間とし、1の組の作業時間帯は8時～17時、2の組の作業時間帯は17時～2時とする。</p> <p align="center">図4-3 時間帯(標準)</p>  <p>2) 2交替(2組)18時間勤務に伴う乗務員1人当り労務単価は、次により算出する。 深夜勤務手当割増率 = $4h \times 0.25 / 8h = 1/8$ 1組当り平均割増率 = $1/8 \times 1/2 = 0.063$ (少数4位四捨五入) 乗務員1人当り労務単価 = 基準額 $\times (1 + 構成比 \times 0.063)$</p> <p>3) 上図は、1日2交替作業の場合を示す。</p> <p>(2) 浚渫船の1日当り運転時間と乗務員の勤務時間を別途考慮する場合 (標準外)</p> <p>浚渫船の1日当り運転時間は、17 時間を標準とする。 また、乗務員の勤務は、1組12時間の2交替、24 時間勤務を標準とし、現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。</p>
Ⅲ-1-④-4	<p>なお、1組当り実労働時間は11時間とし、1の組の作業時間帯は8時～20時、2の組の作業時間帯は20時～8時とする。</p> <p align="center">図4-4 時間帯(標準外)</p>  <p>2) 2交替(2組)24時間勤務に伴う乗務員1人当り労務単価は、次により算出する。 超過勤務手当割増率 = $(3h + 3h) \times 1.25 / 8h = 7.5 / 8$ 深夜勤務手当割増率 = $(7h - 1h) \times 0.25 / 8h = 1.5 / 8$ 1組当り平均割増率 = $(7.5 / 8 + 1.5 / 8) \times 1/2 = 0.563$ (少数4位四捨五入) 乗務員1人当り労務単価 = 基準額 $\times (1 + 構成比 \times 0.56)$</p> <p>3) 上図は、1日2交替作業の場合を示す。</p>	<p>なお、1組当り実労働時間は11時間とし、1の組の作業時間帯は8時～20時、2の組の作業時間帯は20時～8時とする。</p> <p align="center">図4-4 時間帯(標準外)</p>  <p>2) 2交替(2組)24時間勤務に伴う乗務員1人当り労務単価は、次により算出する。 超過勤務手当割増率 = $(3h + 3h) \times 1.25 / 8h = 7.5 / 8$ 深夜勤務手当割増率 = $(7h - 1h) \times 0.25 / 8h = 1.5 / 8$ 1組当り平均割増率 = $(7.5 / 8 + 1.5 / 8) \times 1/2 = 0.563$ (少数4位四捨五入) 乗務員1人当り労務単価 = 基準額 $\times (1 + 構成比 \times 0.563)$</p> <p>3) 上図は、1日2交替作業の場合を示す。</p>

積算基準 [1 一般土木] 第三編 河川 (平成27年10月30日以降適用) 訂正箇所表

頁	現行		訂正後 (平成27年10月30日以降適用)																																								
III-1-④-12	<p>7. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 浚渫船運転費</p> <p>1) 運転時間標準の場合</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB310710</th> <th>施工単位</th> <th>日</th> </tr> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="3">入 力 条 件</th> <th></th> </tr> <tr> <th></th> <th>J 1</th> <th>J 2</th> <th colspan="2">J 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>浚渫船規格 (表 7.1)</td> <td>浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与</td> <td colspan="2">供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 2交替制で18時間稼働13時間運転とする。 2. J 1条件で①, ②を選択した場合は, 電力料 (電気船) (Y-7500000) [円/ kWh] を単価登録すること。 3. J 1条件で①, ②, ④, ⑥を選択した場合はJ 2条件は入力する必要はない。 4. J 2条件で①を選択した場合は, 排砂管損料 (WB310730) を計上すること。 5. J 2条件で②を選択した場合は, 浚渫船機械管理費 (WB310740) を計上すること。また, 現場修理費 (Y-5932000) [円/日] を単価登録すること。 6. J 3条件の供用日当り運転時間 (h/日) は実数入力とし, 小数第2位四捨五入, 小数第1位止め入力とする。 7. 労務単価は, 2交替制で1組の賃金対象時間が8時間である為, 労務費調整係数等の指定を下記のとおり行うこと。 [労務費調整係数 1.060, 超勤時間 0]</p>	施工歩掛コード	WB310710		施工単位	日	施工区分	入 力 条 件					J 1	J 2	J 3		各 種	浚渫船規格 (表 7.1)	浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与	供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)		変更 →	<p>7. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 浚渫船運転費</p> <p>1) 運転時間標準の場合</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB310710</th> <th>施工単位</th> <th>日</th> </tr> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="3">入 力 条 件</th> <th></th> </tr> <tr> <th></th> <th>J 1</th> <th>J 2</th> <th colspan="2">J 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>浚渫船規格 (表 7.1)</td> <td>浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与</td> <td colspan="2">供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 2交替制で18時間稼働13時間運転とする。 2. J 1条件で①, ②を選択した場合は, 電力料 (電気船) (Y-7500000) [円/ kWh] を単価登録すること。 3. J 1条件で①, ②, ④, ⑥を選択した場合はJ 2条件は入力する必要はない。 4. J 2条件で①を選択した場合は, 排砂管損料 (WB310730) を計上すること。 5. J 2条件で②を選択した場合は, 浚渫船機械管理費 (WB310740) を計上すること。また, 現場修理費 (Y-5932000) [円/日] を単価登録すること。 6. J 3条件の供用日当り運転時間 (h/日) は実数入力とし, 小数第2位四捨五入, 小数第1位止め入力とする。 7. 労務単価は, 2交替制で1組の賃金対象時間が8時間である為, 労務費単価の補正を4. 浚渫船の運転4-2浚渫船運転労務費 (1) により行うこと。</p>	施工歩掛コード	WB310710		施工単位	日	施工区分	入 力 条 件					J 1	J 2	J 3		各 種	浚渫船規格 (表 7.1)	浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与	供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)	
施工歩掛コード	WB310710		施工単位	日																																							
施工区分	入 力 条 件																																										
	J 1	J 2	J 3																																								
各 種	浚渫船規格 (表 7.1)	浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与	供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																								
	施工歩掛コード	WB310710		施工単位	日																																						
施工区分	入 力 条 件																																										
	J 1	J 2	J 3																																								
各 種	浚渫船規格 (表 7.1)	浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与	供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																								
	III-1-④-13	<p>2) 運転時間標準外の場合</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB310720</th> <th>施工単位</th> <th>日</th> </tr> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="3">入 力 条 件</th> <th></th> </tr> <tr> <th></th> <th>J 1</th> <th>J 2</th> <th colspan="2">J 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>浚渫船規格 (表 7.1)</td> <td>浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与</td> <td colspan="2">供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 2交替制で24時間稼働17時間運転とする。 2. J 1条件で①, ②を選択した場合は, 電力料 (電気船) (Y-7500000) [円/ kWh] を単価登録すること。 3. J 1条件で①, ②, ④, ⑥を選択した場合はJ 2条件は入力する必要はない。 4. J 2条件で①を選択した場合は, 排砂管損料 (WB310730) を計上すること。 5. J 2条件で②を選択した場合は浚渫船機械管理費 (WB310740) を計上すること。また, 現場修理費 (Y-5932000) [円/日] を単価登録すること。 6. J 3条件の供用日当り運転時間 (h/日) は実数入力とし, 小数第2位四捨五入, 小数第1位止め入力とする。 7. 労務単価は, 2交替制で1組の賃金対象時間が11時間である為, 労務費調整係数等の指定を下記のとおり行うこと。 [労務費調整係数 1.135, 超勤時間 3]</p>	施工歩掛コード	WB310720		施工単位	日	施工区分	入 力 条 件					J 1	J 2	J 3		各 種	浚渫船規格 (表 7.1)	浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与	供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)		変更 →	<p>2) 運転時間標準外の場合</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th colspan="2">WB310720</th> <th>施工単位</th> <th>日</th> </tr> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="3">入 力 条 件</th> <th></th> </tr> <tr> <th></th> <th>J 1</th> <th>J 2</th> <th colspan="2">J 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>浚渫船規格 (表 7.1)</td> <td>浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与</td> <td colspan="2">供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 2交替制で24時間稼働17時間運転とする。 2. J 1条件で①, ②を選択した場合は, 電力料 (電気船) (Y-7500000) [円/ kWh] を単価登録すること。 3. J 1条件で①, ②, ④, ⑥を選択した場合はJ 2条件は入力する必要はない。 4. J 2条件で①を選択した場合は, 排砂管損料 (WB310730) を計上すること。 5. J 2条件で②を選択した場合は浚渫船機械管理費 (WB310740) を計上すること。また, 現場修理費 (Y-5932000) [円/日] を単価登録すること。 6. J 3条件の供用日当り運転時間 (h/日) は実数入力とし, 小数第2位四捨五入, 小数第1位止め入力とする。 7. 労務単価は, 2交替制で1組の賃金対象時間が11時間である為, 労務費単価の補正を4. 浚渫船の運転4-2浚渫船運転労務費 (2) により行うこと。</p>	施工歩掛コード	WB310720		施工単位	日	施工区分	入 力 条 件					J 1	J 2	J 3		各 種	浚渫船規格 (表 7.1)	浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与	供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)
施工歩掛コード	WB310720		施工単位	日																																							
施工区分	入 力 条 件																																										
	J 1	J 2	J 3																																								
各 種	浚渫船規格 (表 7.1)	浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与	供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																								
	施工歩掛コード	WB310720		施工単位	日																																						
施工区分	入 力 条 件																																										
	J 1	J 2	J 3																																								
各 種	浚渫船規格 (表 7.1)	浚渫船 機械使用区分 ①持込 ②貸与	供用日当り 運転時間 (h/日) ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																								